

<凡例>

- 1 「眼鏡・コンタクト装用のため矯正視力のみ測定者」の項目は、表中では「矯正視力のみ測定者」と標記した。
- 2 被患率の算出は、以下の計算式による。
被患率（％）＝各項目の該当者数÷各項目の受診者数×100（小数点以下第3位を四捨五入）

各項目の受診者数（被患率の母数）は以下のとおりである。

- ・「栄養状態」「脊柱側弯症・脊柱異常」「胸郭異常」「四肢異常」「感染性皮膚疾患」「アレルギー性皮膚疾患（アトピー性皮膚炎）」「アレルギー性皮膚疾患（アトピー性皮膚炎以外）」「その他の皮膚疾患」「結核患者」「心臓疾患」「気管支喘息」「腎臓疾患」「言語障害」「その他の疾患・異常」→「受診者数」
- ・「裸眼視力測定者」の各項目及び「眼鏡等装用者」「矯正視力のみ測定者」
→「裸眼視力測定者」＋「矯正視力のみ測定者」
（「裸眼視力測定者」・・・「裸眼視力測定者（1）～（4）の合計」）
- ・「感染性眼疾患」「アレルギー性眼疾患」「その他の眼疾患」→「眼疾患受診者」
- ・「難聴」→「聴力検査受診者」
- ・「耳疾患」「アレルギー性鼻疾患」「その他の鼻・副鼻腔疾患」「口腔咽頭疾患」
→「耳鼻咽喉科検診受診者」
- ・「（結核）精密検査対象者」→「結核検診受診者」
- ・「心電図異常」→「心電図検査受診者」
- ・「尿蛋白検出」「尿糖検出」→「尿検査受診者」
- ・歯及び口腔の検査の各項目→歯及び口腔の検査の「受診者数」

（注意）

- （1）検査項目によっては、受診者数が「受診者数」欄の数値と異なる場合がある。
- （2）各項目の疾病異常者の総数が、調査票上の各項目の受診者数と異なる場合があるため、被患率の合計が100%とならないことがある。

- 3 データ表中に用いた記号は次のとおりである。

「－」該当なし（0名）の場合

「0.00」計数が単位未満（0.005未満）の場合

「…」検査の対象学年でない場合（検査が未実施の場合を含む）

「（空白）」検査の対象学年であるが、受診者がいない場合